平成２０年５月２９日

南　越　稲　作　情　報　No２

―　生育は旺盛気味に推移　―

丹南農林総合事務所 農業経営支援部

１　水管理

（１）除草剤散布後は、３ｃｍ程度の湛水を継続し、茎数確保に努める。
　※　ワキが見られたり、藻が発生した場合は、適宜、落水。

（２）茎数が確保されたら、溝切り・中干しを実施。
・坪７０株植えなら１株１６本、坪６０株植えなら１株１８本が目安。
・直播なら、１ｍあたり１００本が目安。
※　現況（下表）を考えると、中干し開始の予想時期は
　・４月下旬移植なら、５月末。
　・５月上旬移植ならびに直播なら、６月第１半旬。
　・５月中旬移植なら、６月第２半旬。

表　現在の状況（５/２９現在）

	葉数	茎数	茎数（本/㎡）
４/下旬移植	５．３	１３	２３６
５/上旬移植	４．９	１０．３	１７２
５/中旬移植	３．５	５．９	１０５
直播	２	３５	１１７

（３）水田が少しひび割れたら入水し、その後は間断通水。

２　いもち病対策

（１）補植苗が多くの水田で放置されています。いもち病の発生源になりますので、早急に取り除きましょう。
（２）直播水田や予防粒剤箱施薬をしなかった移植水田では、６月１０日までに予防粒剤を散布する。

３　雑草対策

・雑草が残った場合は、大きな雑草に効果のある除草剤を再度散布する。
　ヒエが残草した場合　→　クリンチャー粒、液　など
　広葉雑草が目立つ場合　→　バサグラン粒・液、MCP 粒　など
※ 除草剤は登録内容に従って使用する
　ラベルに記載された使用晩限内に必ず散布すること！
・除草剤散布後７日間は、落水しないこと。（ただし、バサグラン粒や液剤を使用する時は、落水またはごく浅水状態で散布する）

今回から、「稲作情報掲示板」を設けました。農業者の皆様の声を聞かせてください。

水稲の栽培をしている中で発生しているトラブルや、生育の状況などについて丹南農林総合事務所までお寄せください。

稲作情報掲示板

（住所・氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〇稲の栽培に関して、気になることやトラブルはありませんか？

〇稲作情報に盛り込んでほしい内容はありますか？

提出先　丹南農林総合事務所農業経営支援部
電話：　23-4545（代表）
FAX　：　22-4862
Mail：　m-nomura-15@pref.fukui.lg.jp